



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2009.1月号

////////// 新年にあたって //////////

明けましておめでとうございます。

昨年は特別展100回記念として、「金目川の博物誌」を開催し、多くの見学者がありました。市民の方の「金目川」に対する関心が大変高く、深い愛着をもたれていたことが、よくわかりました。今後とも、地域に密着したテーマを企画していきますので、よろしくお願い申し上げます。

今年の干支は「丑」年です。牛には諺が多くあります。「商いは牛の涎（よだれ）」は商売をするには牛の涎のようではいけないということで、一時に大もうけしようとせず、細く長く、わずかな利益を積み重ねて財をなすべきという意味です。また、「牛の歩み」は牛ののろのろした歩きぶりから、進歩・進展のおそいたとえです。良い意味でも、悪い意味でも牛に関した多くの諺があります。

博物館は開館して34年目を迎えます。今までは、馬のように突っ走ってきたような年月であったと感じます。この辺で、もう一度「博物館とは」の原点に戻り、職員一同「市民ありきの博物館」を着実に推進するために、牛のように着実に運営を進めて行きたいと思います。皆様方のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平塚市博物館 館長 明石 新



牛の石像（城所 貴船神社）

明治時代、日露戦争の戦勝祈願に城所の三面大荒神社へ奉納された石像。同様の牛像が日清戦争の勝利記念に城所の個人宅へ奉納されている。なぜ、牛なのかは不詳である。

第100回記念特別展 関連行事「金目川を歩く」を振り返る

秋の特別展「金目川の博物誌」の期間中、野外行事「金目川を歩く」を実施し、花水川の河口から金目川の水源まで4回に分けて歩き通しました。毎回3名の学芸員が参加し、現地で解説を行いました。自然と人文の両面から金目川流域を見つめることで、たくさんの発見がありました。コースは金目川に沿って歩くだけでなく、旧河道や湧水、支流など川と水に関するスポットもめぐりました。参加人数が少なかったことはやや寂しかったのですが、その分、じっくり観察や話しを楽しむことができ、充実した4日間の旅になりました。

第1回（下流域編）： 漂着物を拾う会のフィールドである平塚海岸からスタート。花水川をさかのぼり、東海道線鉄橋の手前で小桜川へ入り大磯町境を歩きました。この辺りは古花水川の河道で、かつての花水川が大きく湾曲して流れていたことが実感できました。上平塚と南原では水神様や舟地藏が祀られ、水害に悩まされた土地柄を物語っていました。達上池や纏緑道には控え土手が築かれ、金目川の氾濫からムラを守る工夫を感じ取れました。（10/21 参加者7名）

第2回（中流域編）： 片岡の吾妻橋を出発し、南金目の金目観音堂を詣で、堀之内館跡を経て大堤へ出ました。大堤からは金目川の旧河道と推定される左岸の低い土地を歩き、北金目の親水公園で昼食をとりました。土屋から下大槻の南平へ上がる手前の崖で段丘礫を観察し、さらに金目川から離れて権現山の展望台ま

で上り、秦野盆地や河岸段丘の地形を見渡しました。一日たっぷり歩き、解散時は薄暗くなりました。（11/1 参加者7名）

第3回（上流域編）： 朝から雨で傘を差しながらの行動となりました。秦野駅を出発して秦野盆地湧水群をめぐりました。水無川から曾屋配水場を経て、降りしきる雨の中「くずはの家」に到着しました。ここで昼食を取らせていただき、所長さんから周辺の哺乳動物のお話をお聞きしました。葛葉川の峡谷は住宅地を流れる川とは思えぬほど深く、豊かな自然環境に感激しました。午後は次第に小雨になり、蓑毛の大日堂まで歩いて終了しました。（11/8 参加者11名）

第4回（源流域編）： 金目川をさかのぼる旅は、大山を目指す旅でもあります。路傍の丁石や石仏に歴史を感じつつ、色づいた木々を愛で、落ち葉を踏みしめながら、蓑毛から一步一步山を登りました。ハイライトは春岳沢の水源。あちらこちらの岩の下からゴボツゴボツと音を立てて湧き出す水に一同大感激。この美味しい水を味わい、阿夫利神社下社まで歩いて昼食。二重滝で鈴川の源流も見て、紅葉狩りで賑わう大山寺を経て茶湯寺まで歩きました。（11/22 参加者12名）

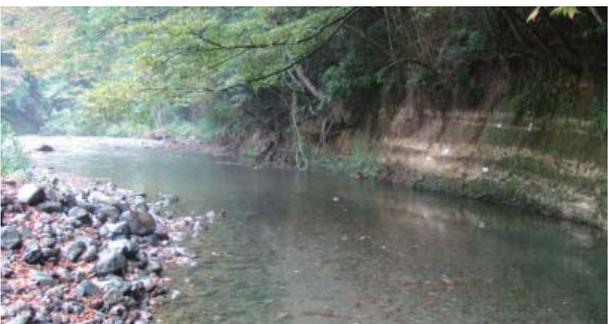
※ 行事の様子を写真で紹介した「金目川を歩く写真展」を1月4日から2月8日まで2階情報コーナーで開催しています。



第1回 平塚海岸にて



第2回 金目川の旧河道を歩く



第3回 葛葉川のかつての河原を示す露頭



第4回 春岳沢水源にて

寄贈品コーナー 「平田忠心さんと大雄山平塚復興講」

会期：1月4日(日)～2月12日(木)

博物館ですっかりお馴染みになったミショー式自転車の寄贈者が平田忠心さんです。平田さんは明治31年、平塚町平塚新宿(現・平塚市明石町)に生まれ、小間物商を営む家業の手伝いで少年時代から自転車に乗っていました。大正3年、17才のとき、非常にあらたかな神様であると近所の人たちから聞いて、大雄山最乗寺の道了尊(現・南足柄市)に自宅から自転車で参拝しました。当時夢中になっていた自転車競技について「どうか徴兵検査までに一流の選手にしたい」と願をかけました。以後、平塚から道了尊まで毎月自転車で参拝し、18分前後の記録で走り上がったといいます。願いは叶い、出る競技のすべてに優勝できるようになりました。

大正4年、道了尊登山一周年を記念して自転車店を開業、同好の士を募り、大雄山自転車遠乗参拝団を組織しました。大正9年には貸切自動車業を開業します。大正12年9月1日、道了尊へ参拝する客を車に乗せて松田町にさしかかったとき、大地震が襲来しました。幸いにも平田さんとお客に怪我はなく、道了様に救っていただいた感謝の念からさらに信仰

を強くします。平塚町は震災で大打撃を受け、荒廃した人々の物心両面を道了様のお力で復興しようと思ひ立ち、大正13年6月に136名の商店主で平塚復興講を開講します。平田さんは昭和63年に89才で亡くなるまで生涯にわたって復興講の講元を務め、道了

尊の信仰に多大な貢献をされました。

寄贈品コーナーでは、平田さんから寄贈された平塚復興講・平塚御詠歌講の資料を中心に、自転車競技・自転車業・貸切自動車業に関する資料や古写真を展示し、道了信仰と平塚市の交通文化の発展に尽力された氏の生涯をたどります。



平塚復興講の道了尊参拝(昭和10年頃)

★★ 第10回記念 ★★

・・・博物館まつり、来月開催・・・

第10回博物館まつり

会期：2月7日(土)～2月22日(日)

場所：平塚市博物館特別展示室

発表会：2月14日(土) 午後1時～4時半
(於 博物館講堂)



4回目の実行委員会(12月10日)

平塚市博物館は、市民に開かれた運営で全国に知られます。とくに会員制の行事を数多く実施し、サークル活動によって参加者の資質を高め、調査収集の面でも成果を上げているのが大きな特徴です。

そうしたサークルの活動や、1年の成果を紹介する「博物館まつり」を、今年も左記の日程で開催します。

特別展示室でのサークル別展示のほか、2月14日には発表会を実施。また、観察や実演など、サークルの得意技を披露しつつ参加のみなさんに楽しんでいただく行事も、多数行います。

「マニアックは面白い」ぜひ感じてください。

参加グループ：天体観察会、相模川の生い立ちを探る会、石仏を調べる会 等全13団体

関連行事：常設展示室おまかせガイドツアー(毎日)、博物館太鼓連演奏(2/7)、コケの観察会(2/12) 戦跡めぐり、火起こし・弓矢体験、真昼の星の観察(2/14)等

関連展示：「博物館まつり10年」

2月14日～3月1日(寄贈品コーナー)

* 詳細は次号でお知らせします----

4	日	☆ 寄贈品コーナー 「平田忠心さんと大雄山平塚復興講」展 ～2月12日まで	展示室 1F
8	木	石仏を調べる会	特別研究室
10	土	☆ プラネタリウム「1月の星空ナビ」	プラネ
		古代生活実験室	科学室
		地質調査会	特別研究室
11	日	水辺の楽校生きもの調べの会	科学室
15	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
16	金	古文書講読会	講堂
17	土	天体観察会	屋上・科学室
		漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
18	日	◎ ろばたばなし	展示室民家
		地質調査会	屋外
		天体観察会	屋上・科学室
		平塚の古代を学ぶ会	講堂
21	水	民俗探訪会	特別研究室
		裏打ちの会	科学室
22	木	石仏を調べる会	特別研究室
23	金	古文書講読会	講堂
24	土	星まつりを調べる会	特別研究室
		地質調査会	屋外
		天体観察会	屋上・科学室
		地域史研究ゼミ	講堂
		平塚の空襲と戦災を記録する会	講堂
		古代生活実験室	科学室
25	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
30	金	◎ 星を見る会	屋上・科学室
		天体観察会	屋上・科学室
31	土	祭囃子研究会	講堂

1	日	平塚の古代を学ぶ会	講堂
5	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
6	金	古文書講読会	講堂
7	土	☆ プラネタリウム「二十八星宿の道」 ～4月5日まで	プラネ
		☆ プラネタリウム「2月の星空ナビ」	プラネ
		古代生活実験室	科学室
		☆ 第10回博物館まつり ～2月22日まで	特別展示室
		地質調査会	屋外
		天体観察会	屋上・科学室
8	日	水辺の楽校生きもの調べの会	屋外
12	木	石仏を調べる会	特別研究室
13	金	古文書講読会	講堂
14	土	☆ 寄贈品コーナー「博物館まつり10周年」 ～3月1日まで	展示室1F
		◎ 博物館まつり発表会	講堂
		漂着物を拾う会	虹ヶ浜・科学室
15	日	◎ ろばたばなし	展示室民家
		地質調査会	屋外
18	水	民俗探訪会	特別研究室
		裏打ちの会	科学室
		☆ ミニ文化祭(東海大学)～3月13日まで	展示室2F
19	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室
20	金	古文書講読会	講堂
		○ プラネタリウムコンサート	プラネ
21	土	星まつりを調べる会	特別研究室
		地質調査会	科学室
22	日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ
26	木	石仏を調べる会	特別研究室
		◎ 星を見る会	屋上・科学室
27	金	天体観察会	屋上・科学室
		古文書講読会	講堂
		祭囃子研究会	講堂
28	土	地域史研究ゼミ	特別研究室
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室

＜展示とプラネタリウム＞

☆ 寄贈品コーナー「平田忠心さんと大雄山平塚復興講」

導了尊の篤信者であり、本市の交通文化の発展に尽力された氏の業績を紹介します。

日時：1月4日(日)～2月12日(木)迄

場所：展示室 1F寄贈品コーナー

☆ 情報コーナー「金目川を歩く」写真展

特別展関連行事として実施した「金目川を歩く」から河口～源流までを紹介します。

日時：1月4日(日)～2月8日(日)迄

場所：展示室 2F情報コーナー

☆ プラネタリウム「1月の星空ナビ」

今月の天文現象の見どころを紹介します。

日時：1月10日(土) 午後2時

観覧料：100円(中学生以下無料)

(通常のプラネタリウム投影は毎週土、日曜午前11時、午後2時)

☆ プラネタリウム「2009年の天文現象」

2009年は世界天文年。日食など注目の天文現象を一気に紹介します。

投影日：2月1日(日)迄の土・日曜日の午前11時と午後2時

観覧料：100円(中学生以下無料)

＜参加者募集＞

◎ ろばたばなし

民家のいろいろばたで昔話を聞いてみませんか。

日時：1月18日(日) (1)午後1時20分～ (2)午後3時～

場所：展示室民家 参加：自由

◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会

ブラックホール特集(1) ブラックホールって何？

日時：1月25日(日) 午後3時30分～4時30分

場所：博物館科学教室、屋上 参加：自由

◎ 星を見る会

西の空で大接近する月と金星を望遠鏡で観察します。

日時：1月30日(金) 午後6時～7時30分

場所：博物館科学教室、屋上 参加：自由

＜年末年始の休館＞

博物館は1月3日まで休館、1月4日(日)より開館します。

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制